



はぐくみ

<編集・発行>

高松市教育委員会教育局

少年育成センター

高松市番町一丁目8番15号

Tel (087) 839-2635

E-mail ikusei@city.takamatsu.lg.jp

今年度は、昨年度のように学校の臨時休業こそなく始まりましたが、依然として新型コロナウイルス感染症対策を学校や家庭、職場などで講じながら、不要不急の外出を控えるという生活が強いられています。そのような状況のなか、子どもも大人も、多くのストレスを抱えながら、「あれもできない、これもできない」から「何とかしてできないのか」「どうすればできるのか」へと考え方を切り替えようとしているところではないでしょうか。

子どもたちの健やかな育ちのために、「はぐくみ」手である家庭、学校、地域社会の大人として、絶対解のない課題に、その最中にいる子どもたちとともに、向き合っていきたいものです。

高松市少年育成センター所長 米谷 利彦

スマート・メディア事業

メディアの発達により、メディアは生活に必要不可欠なものになっています。しかし、スマートフォンやゲーム機等の使用に伴うトラブルや依存、生活習慣の乱れなどが懸念されています。市内の小・中学生を対象に、積極的な情報機器の活用を前提として、メディアの良さや危険性の両面を知り、メディアを賢く（スマートに）使える子どもたちを育てようという趣旨で、『家族でチャレンジ！スマート・メディアデー（ウィーク）』を設定し、家庭で話し合い「わが家のルール」を決めたり、生活習慣を見直したりして、家族の時間の確保に努め、ネット依存の防止や自己管理能力の育成とともに、『温かい家庭づくりにつなげる』取組を実践しています。

【実践内容】

○ ワークシート（チャレンジシート）

- ・ スマート・メディアの取り組む時に、目標を家庭の事情に合わせて設定し実践する。
- ・ 保護者への協力依頼文を配布し、家庭の実情に合わせて無理のない取組とする。

○ わが家のルール（記入用紙）

- ・ 家庭で話し合って、達成可能な「ルール」や他にできることを決め用紙に記入する。
- ・ 具体的で継続して守れる内容にして、見えるところに貼って、常に意識付けをする。

○ 啓発チラシ（家族でチャレンジ！「スマート・メディア」）

- ・ 学校で配布し、内容を説明する。また、保護者に周知して家庭での協力依頼を行う。
- ・ 自分自身の生活習慣を見直す機会にして、家族とのふれあう時間を大切にする。

○ 学校での取組

- ・ 学校だよりや保健だより、PTA メール等を活用して積極的に啓発を行う。
- ・ 学校保健委員会等で議題として取り上げ、積極的に研修会を開催する。

【実践しての意見】

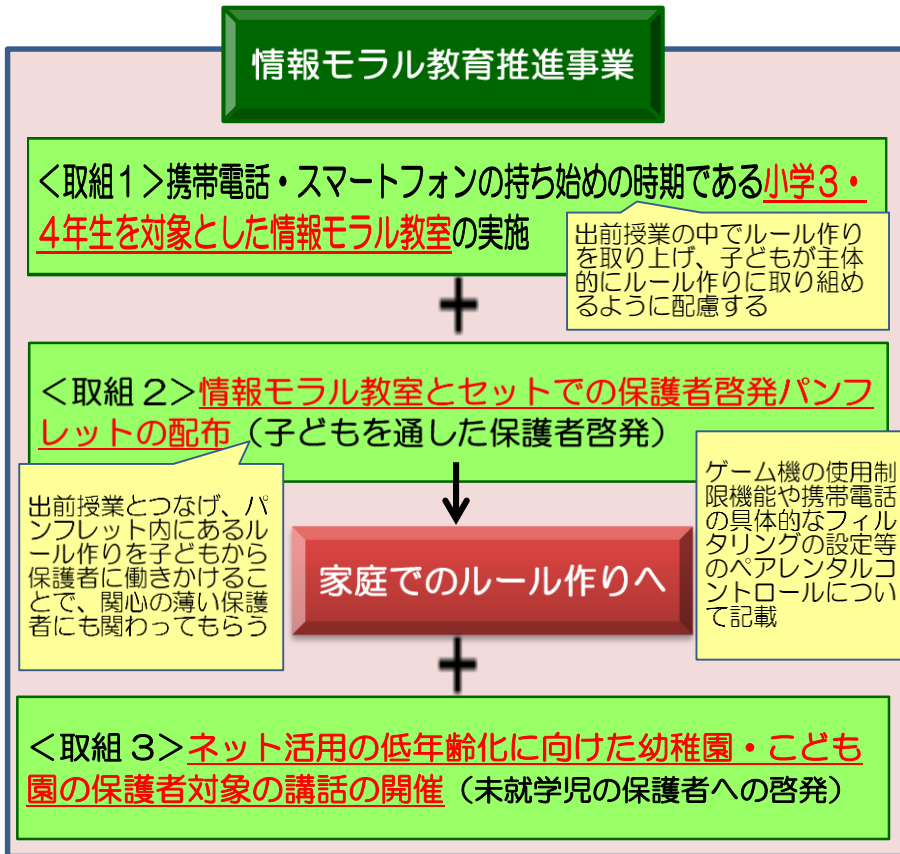
- ・ メディアを使うことに時間を使いすぎていることが分かった。
- ・ 自分のために使う時間や家族との会話や活動が増えた。
- ・ ルールや生活について、家族と振り返ったりする良い機会になった。



情報モラル教育推進事業

情報モラル出前授業も7年目となりました。授業ではインターネットの長所と短所・注意する事を知り、安全・安心で上手に利用するために、子どもたちが守るべき3つの約束を確認し意識付けることで家庭でのルール作りにつなげています。授業後、保護者に配布するパンフレットでは保護者が行うべき3つの実践を紹介し、家庭でのルール作りが大切だということを訴えて続けています。また、ネット依存・ゲーム障害を早期から防ぐための対策を出前授業の内容や保護者啓発に取り入れて実施しています。

昨年度からは、現在のネット活用の低年齢化という実態を踏まえ、新たに未就学児の保護者を対象とした出前講話を設定しました。そして、小学校3年生も対象に加えた出前授業を核とした情報モラル教育推進事業に継続的に取り組んでいます。



＜出前授業の様子＞



＜保護者用パンフレット＞



万引き防止事業

万引きは、非行の入り口といわれる初発型非行です。早い段階から非行の兆候を見逃さないよう啓発しています。

また、市少年育成委員とも連携して、万引き防止キャンペーンを実施し啓発しています。



万引き防止キャンペーン

＜主な事業内容＞

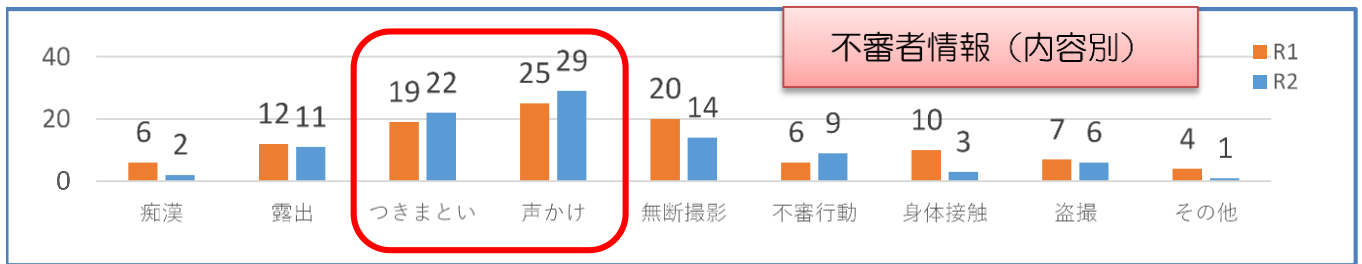
- ・万引き防止啓発用品の作成と配布
- ・万引き防止キャンペーンの実施（関係団体と連携して実施しています。）



子どもの安全確保活動

不審者情報

令和2年度に少年育成センターに寄せられた不審者情報は、令和元年度から12件減って、97件でした。内容は、「つきまとい」「声かけ」が多く、各地域でも見守り活動を継続してお願いします。



スクールガード・リーダー

＜主な活動内容＞

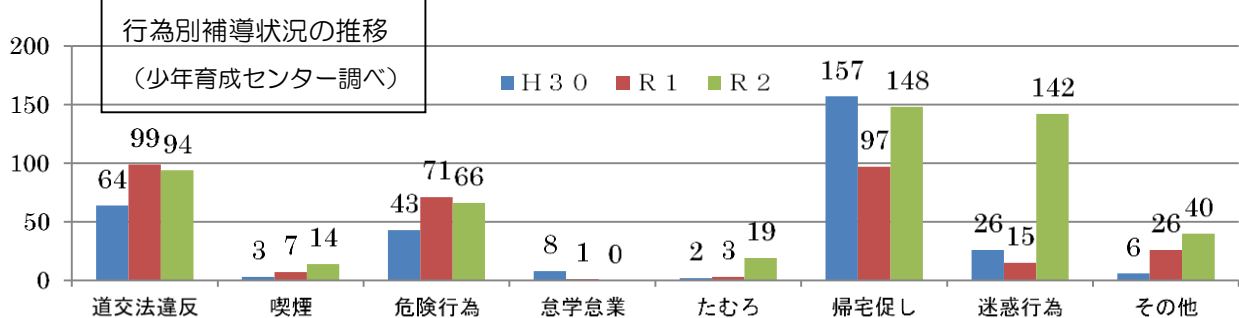
- ・登下校時の見守り
- ・校内外の安全点検
- ・避難訓練の助言 等



防犯・安全対策の専門家である警察OBの4名をスクールガード・リーダーとして委嘱し、市内の幼稚園・こども園・小学校に派遣しています。気軽に声をかけてください。

補導活動

少年育成センターでは、職員その他、各地域の少年育成委員や小・中・高の生徒指導の先生方にも御協力をいただいて、非行防止のための補導活動を実施しています。昨年度はやや増加したとはいえ、近年、補導人数は年々減少しており、このような結果は、青少年の健全育成に係わる人々の地道な取組の成果だと考えられます。ただ減少傾向にあるとはいえ、まだまだ、深夜外出をきっかけにトラブルに巻き込まれたり、非行に走ったりする子どもがいることも事実です。今後とも、粘り強く「愛の声かけ」を続けていきましょう。



青色パトロールカー・公用車・「見守り隊」による巡回

少年育成センターでは、小学校の下校時間にあわせて、市内を10ブロックに分けて、ほぼ毎日2～3ブロックを3台の青色パトロールカーで巡回しています。

また、右のマグネットステッカーを貼った高松市の公用車や各地域でも青色パトロールカーや「見守り隊」(ボランティア)による巡回や立哨指導を行っています。



子ども安全パトロール

「育実ちゃん」着ぐるみ貸出・イラスト利用

高松市青少年健全育成キャラクター「育実ちゃん」の着ぐるみの貸出を行っています。まだまだ勢いのある新型コロナウイルスの影響で集まって行事等を行うことは難しいですが、啓発活動ができるようになりましたら、是非、御活用ください。

また、「育実ちゃん」のイラスト(16パターン)も御利用いただけます。名刺のワンポイントに、地区・校区で作成する啓発用品に、いかがでしょうか。



令和2年度作成の啓発用品に
(市民会議)

校区内の交通安全プレートに
(香西校区)



詳しくは、高松市少年育成センターのHP (<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kosodate/seisyounen/ikusei/index.html>) を御覧いただくか、少年育成センター(☎087-839-2635)までお問い合わせください。皆様からのお問い合わせをお待ちしています。

相談活動「こどもスマイルテレホン」

昨年から引き続き新型コロナウイルスが収束せず、学校行事などが制限されているため、勉強の悩みやストレス、不安な気持ちを抱える人が多いかもしれません。

友だちや学校生活、子育てのことなどで、困っていることはありませんか？ひとりで悩まず誰かに聞いてもらうだけで、気持ちが軽くなったり解決のきっかけになったりすることもあります。

少年育成センターでは、電話(こどもスマイルテレホン)や来所による相談を受け付けています。また、必要に応じて専門機関を紹介しますのでお気軽に御相談ください。



環境浄化活動

有書図書やDVD等を回収・廃棄する環境浄化活動は、青少年の健全育成において重要な活動の一つであり、現在市内13か所に白ポストを設置し、毎月少年育成センターの職員が回収にあたっています。

昨年度は、不用図書等を含め、3,315点を回収しました。



白ポスト

【白ポスト設置場所】

- ・JR 高松駅・中央公園南東入口・ことでん瓦町西側ペデストリアンデッキ2F
- ・高松競輪場東側・太田中央コミュニティセンター・JR 屋島駅・JR 鬼無駅
- ・ことでん一宮駅・ことでん仏生山駅西側出入口・川島コミュニティセンター
- ・国分寺総合センター・牟礼総合センター・香川総合センター(計13か所)